

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報処理/ベンダー対策 I		情報システム学科/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	25回	3単位(50時間)	必須	平坂 篤
授業の概要				
春の情報処理試験の合格を目指して、基本情報と応用情報の午後対策を行う。				
授業終了時の到達目標				
基本情報、応用情報処理試験の合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		平坂 篤: カスタマエンジニアとして5年の勤務経験 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	過去問題答練①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FE: 令和元年度秋問題</li> <li>・AP: 令和2年度秋問題</li> </ul>		
3~ 4	問題見直し・解説①	前回の問題の見直し、解説		
5~ 6	過去問題答練②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FE: 平成31年度春問題</li> <li>・AP: 令和元年度秋問題</li> </ul>		
7~ 8	問題見直し・解説②	前回の問題の見直し、解説		
9~ 10	過去問題答練③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FE: 平成30年度秋問題</li> <li>・AP: 平成31年度春問題</li> </ul>		
11~ 12	問題見直し・解説③	前回の問題の見直し、解説		
13~ 14	過去問題答練④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FE: 平成30年度春問題</li> <li>・AP: 平成30年度秋問題</li> </ul>		
15~ 16	問題見直し・解説④	前回の問題の見直し、解説		
17	過去問題答練⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FE: 平成29年度秋問題(3問)</li> <li>・AP: 平成30年度春問題(3問)</li> </ul>		
18	過去問題答練⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FE: 平成29年度秋問題(4問)</li> <li>・AP: 平成30年度春問題(3問)</li> </ul>		
19	過去問題答練⑦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FE: 平成29年度春問題(3問)</li> <li>・AP: 平成29年度秋問題(3問)</li> </ul>		
20	過去問題答練⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FE: 平成29年度春問題(4問)</li> <li>・AP: 平成29年度秋問題(3問)</li> </ul>		
21	過去問題答練⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FE: 平成28年度秋問題(3問)</li> <li>・AP: 平成29年度春問題(3問)</li> </ul>		
22	過去問題答練⑩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FE: 平成29年度春問題(4問)</li> <li>・AP: 平成29年度秋問題(3問)</li> </ul>		

回	テ ー マ	内 容		
23	過去問題答練①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FE : 平成28年度秋問題 (3問)</li> <li>・ AP : 平成29年度春問題 (3問)</li> </ul>		
24～ 25	評価試験	評価試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
基本情報、応用情報の過去問題		出席率 実試験 評価試験	10.0% 45.0% 45.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FEに合格した場合は、B評価確定とする</li> <li>・ APに合格した場合は、A評価確定とする</li> </ul>

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
デザイン思考		情報システム学科/2年	2021/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	永田 広志
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインという視点を通して情報を論理的に整理することを習得する。</li> <li>・デザインの中でもグラフィックデザインの基礎にふれる。</li> <li>・プレゼンテーションを通してコミュニケーション能力を習得する。</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報整理能力と共に情報をいかに活用するかを思考し続けられる持続力の獲得。</li> <li>・いかなる状況でもプレゼンテーションできる柔軟性の獲得。</li> <li>・チームプロジェクトにおけるコミュニケーション能力の獲得。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		永田 広志: グラフィックデザイナーとして6年の実務経験 これまでの経験を活かして、グラフィックデザインの基礎を指導		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1	デザインとは	デザインについて、情報デザインについて、デザイン思考について		
2~3	チーム課題1	課題にチームで取り組む 課題解決: プレゼンテーション、レポート提出		
4	情報デザインとは	情報デザインについての講義		
5	グラフィックデザインとは	グラフィックデザインについての講義		
6~7	デザイン思考とは	デザイン思考についての講義		
8~9	デザイン思考1	デザイン思考1「着想①」潜在的ニーズ		
10~11	デザイン思考2	デザイン思考2「着想②」普遍		
12~14	デザイン思考3	デザイン思考3「発案①」ブレインストーミング ブレインストーミング演習		
15	前期まとめ	前期まとめ、講評		
16	復習	前期デザイン思考の復習		
17~18	デザイン思考4	デザイン思考4「発案②」プロトタイピング プロトタイピング演習		
19~20	デザイン思考5	デザイン思考5「実現①」プレゼンテーション1 プレゼンテーション演習1		
21~22	デザイン思考6	デザイン思考6「実現②」プレゼンテーション2 プレゼンテーション演習2		
23~24	チーム課題2	課題説明(チームで取り組む課題)		

回	テ ー マ	内 容		
25～ 26	チーム課題 2	レポート作成、確認		
27～ 28	チーム課題 2	プレゼンテーション、講評、レポート提出		
29～ 30	後期まとめ	後期まとめ、講評		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
参考図書及び資料プリント		出席率 課題・レポート 実習・実技評価	30.0% 40.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IoT開発基礎		情報システム学科/2年	2021/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	吉村 健太
授業の概要				
IoT関連の機器の設定、アプリ開発の基本を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
IoT関連の機器の設定、アプリ開発の基本ができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【実務経験】吉村 健太: システム管理、システム開発経験16年 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1~6	ラズベリーパイの導入	ラズベリーパイのハードウェアや初期設定方法の理解		
7~12	ラズパイの使い方超入門	LEDを使ってのラズベリーパイの簡単な使い方と操作方法		
13~18	複雑な配線	拡張機能を使っての複雑な配線		
19~24	動力	モーターなど、モノを動かしてみる		
25~30	情報を受け取る	データのインプットにより、動作する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Raspberry Pi Raspberry Pi 工作キット		出席率 実習・実技評価	40.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
LAN構築演習		情報システム学科/2年	2021/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	平坂 篤
授業の概要				
WindowsやLinuxのサーバ・クライアントに触れることで、企業LANで利用されている実践的な管理や操作を体験する。 また、普段あまり使用しないCUIはLinux操作においては必要不可欠なインターフェースなので、実際に操作することで慣れ親しむ。 VPSを利用して外部のサーバを設定し、サービスを利用できるようにする。 これらは次年度の卒業制作において重要なスキルとなりえるので、この授業で身につける。				
授業終了時の到達目標				
1. Windowsを使用したサーバの構築や管理ができるようになる 2. CLIによってLinuxの簡単な操作ができるようになる 3. Linuxを使用したサーバの構築や管理ができるようになる 4. VPSを利用して公開サーバを構築・設定できるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		平坂 篤: カスタマエンジニアとして5年の勤務経験 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1~2	授業概要の説明 【VMwareの利用】 ・VMwareと仮想化の概要、種類、必要性の説明 ・VMwareのネットワークの種類についての説明	LANにおけるコンピュータの接続や管理、様々な役割について学習する 仮想環境の概念や必要性について学習する VMwareのネットワークの種類や利用方法について学習する		
3	【VMwareの利用】 ・VMwareのインストール	VMwareを実際にインストールして利用する		
4~6	【VMwareの利用】 ・ゲストOSのインストール	ゲストOSとして、Windows 10とWindows Server 2019をインストールする		
7~11	【Windowsでのネットワーク構築】 ・サービスの使用(標準、アプリ) ・クライアントからの接続	サービスについて理解し、実際に操作をする 一般的に使用されている物や標準実装されているサービスの概要を学習する 上記サービスを実際に利用する		
12	【Windowsでのネットワーク構築】 ・GUIによる管理操作 ・ファイルのアクセス権設定	コンピュータの管理でできることを学習する コンピュータの管理を利用して、ユーザ、ディスク、デバイス、ログの管理をする ファイルのアクセス権を設定する		
13~15	【Windowsでのネットワーク構築】 ・CUIによる管理操作	コマンドプロンプトを使用してファイルの操作をする Windows Power Shellを使用して、ファイルのアクセス権やサービスの操作をする		
16~18	【Windowsでのネットワーク構築】 ・ネットワークの設定	ネットワークに関連する各種設定をする		
19~20	【Linuxでのネットワーク構築】 ・RaspberryPiのインストール ・最小限の基本設定	RaspberryPiにOSをインストールする RaspberryPiに基本設定をする		

回	テーマ	内容		
21~ 22	【Linuxでのネットワーク構築】 ・ネットワークの設定 ・遠隔操作のための設定	Linuxにおいて基本的なネットワーク設定や操作をする CUI、GUIの両方で遠隔からコンピュータの操作をする		
23	【Linuxでのネットワーク構築】 ・Linuxの仕組みについての理解	Linuxの仕組みを学習する		
24	【Linuxでのネットワーク構築】 ・コマンドによるファイル操作	コマンドを理解して実際に各種操作をする		
25~ 26	【Linuxでのネットワーク構築】 ・iptablesによるファイアウォールの設定	iptablesを使用して簡易的なファイアウォールを設定できるようになる		
27~ 30	【Linuxでのネットワーク構築】 ・Linuxによるサーバ構築	LinuxによってDB、HTTPサーバを構築する		
31	【VPS】 ・VPSによるサーバの構築 ・VPSの設定	VPSについて学習する VPSを構築する VPSにアプリケーションをインストールする		
32~ 36	【VPS】 ・VPSを利用した外部サーバの公開	VPNを外部に公開し、利用できるようにする		
37~ 38	VMwareにおけるイメージファイル操作	VMwareにおいてイメージファイルを操作し、インポート、エクスポートの操作を習得する		
39	前期末試験対策1	前期末試験1の対策及び復習		
40~ 41	前期末試験1	前期末試験1		
42	前期末試験対策2	前期末試験2の対策及び復習		
43~ 44	前期末試験2	前期末実技試験、Linux操作の試験を実施		
45	授業の振り返り	授業を終えて、勉強した内容を振り返る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
VMware、VirtualBox Windows 10、Windows Server 2019 Raspberry Pi さくらインターネットVPSサーバ		出席率 課題・レポート 期末試験	10.0% 50.0% 40.0%	・前期末実技試験 Windowsによる実 技試験(20%) Linuxによる実技 試験(20%)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
インターネット実習応用 (JavaScript)		情報システム学科/2年	2021/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	田中 健介
授業の概要				
JavaScriptを使って、リアルタイムに更新できる動的なホームページ作成テクニックについて学ぶ				
授業終了時の到達目標				
ユーザーの操作に反応するUIとAjaxを使ったクライアントサーバ間でのデータの送受信する方法を理解し、ページに掲載されているコンテンツを即座に更新ができるようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	田中 健介 : 会社にて3年間勤務経験 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	イントロダクション	Javascriptについての説明		
3~ 4	アウトプットの基本	2-1 コンソールにアウトプット 2-2 JavaScriptはどこに書く? 2-3 ダイアログボックスを表示する 2-4 HTMLを書き換える		
5~ 6	JavaScriptの文法と基本的な機能	3-1 確認ダイアログボックスを表示する 3-2 入力に応じて動作を変更する 3-3 動作のバリエーションを増やす 3-4 数当てゲーム 3-5 時間で異なるメッセージを表示する 3-6 1枚、2枚、3枚・・・と出力する 3-7 コンソールでモンスターを倒せ! 3-8 税込み価格を計算する 3-9 FizzBuzz 3-10 項目リストを表示する 3-11 アイテムの価格と在庫を表示する		
7~ 8	インプットとデータの加工	4-1 フォームの入力内容を取得する 4-2 わかりやすく日時を表示する 4-3 「0」をつけて桁数を合わせる 4-4 小数点第0位で切り捨てる		
9~ 10	一歩進んだテクニック	5-1 カウントダウンタイマー 5-2 プルダウンメニューで指定ページへ 5-3 アンケートへの回答は一度だけ 5-4 イメージの切り替え 5-5 スライドショー		
11~ 12	jQuery入門	6-1 開閉するナビゲーションメニュー 6-2 ボックスを開く・たたむ 6-3 空き席状況をチェック		



回	テーマ	内容		
13~ 14	外部データを活用したアプリケーションに挑戦!	7-1 最新記事一覧を表示する 7-2 WebAPIを使ってみよう		
15	まとめ	全学習のまとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
確かな力が身につくJavascript「超」入門		出席率 授業態度 実習・実技評価	10.0% 10.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
データベース演習		情報システム学科/2年	2021/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	吉村 健太
授業の概要				
ExcelデータをAccessにインポートし、データベース管理を学ぶ Excelを使用してデータ分析をする技術を身につける				
授業終了時の到達目標				
Accessを用いてデータベースを学ぶ Excelを活用して、簡易的なデータ分析能力を身につける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【実務経験】吉村 健太: システム管理、システム開発経験16年 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1~2	1. Excel & Access連携の基礎知識	AccessとExcelの連携と、メリット		
3~6	2. 標準機能を使ってExcelのデータをAccessに書き込む	Excelシートの整形		
7~10	3. VBAを使ってExcelのデータをAccessに書き込む	ExcelVBA、SQL、ADOについて理解する		
11~14	4. 標準機能を使ってAccessのデータをExcelに読み込む	Accessデータのエクスポートを理解する		
15~18	5. VBAで専用フォームを作成してAccessのデータをExcelに読み込む	フォームを利用する		
19~22	6. 専用フォームを使ってExcelからデータを追加・更新・削除する	AccessVBAを理解する		
23~26	7. 列数の多いExcelシートを分割しAccessの複数テーブルで利用する	複数のテーブルを利用する リレーションシップ		
27~30	8. Excel&Access連携アプリケーション	マスタテーブル等の活用		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Excel&Access連携 実践ガイド~仕事の現場で即使える 秀和システム 図解でわかる 最新 エクセルのデータ分析がみるみるわかる本		出席率 授業態度 実習・実技評価	10.0% 10.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネットワーク実習Ⅱ		情報システム学科/2年	2021/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	90回	6単位(180時間)	必須	平坂 篤
授業の概要				
<b>【前期でITN、後期でSRWEを実施】</b> ・デバイス、インターネット、プロトコルなど、イーサネットの基礎も含めたネットワークの要素を学習する。 ・ネットワーク上のデータを接続するためのアーキテクチャ、モデルなどについて理解する。 ・WLANやセキュリティを考慮した中小規模の企業ネットワークをサポートする知識について学習する。				
授業終了時の到達目標				
・IPアドレッシングや基本的なセキュリティを含めたシンプルなLANを構築できるようになる。 ・ルータとスイッチの基本的な設定ができるようになる。 ・基本的なネットワーク構成とトラブルシューティング、脅威の特定などセキュリティ保護ができるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		平坂 篤：カスタマエンジニアとして5年の勤務経験 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
<b>【準備学習】</b> 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1～4	今日のネットワーク	最新のネットワーク技術の進歩を学習する		
5～8	基本的なスイッチとエンドデバイスの設定	パスワード、IP アドレッシング、デフォルトゲートウェイパラメータなどの初期設定を、ネットワークスイッチとエンドデバイスに実装する		
9～11	プロトコルとモデル	ネットワークプロトコルにより、デバイスがローカルおよびリモートのネットワークリソースにアクセスする方法について学習する		
12～14	物理層	物理層のプロトコル、サービス、およびネットワークメディアがデータネットワーク間の通信をどのようにサポートしているかについて学習する		
15	記数法	10進法、2進法、および16進法の間で数値を計算する		
16～17	データリンク層	データリンク層のメディアアクセス制御がネットワーク間の通信をどのようにサポートするかを学習する		
18～19	イーサネット スイッチング	スイッチドネットワークでイーサネットがどのように動作するかを学習する		
20～21	ネットワーク層	ルータがネットワーク層のプロトコルとサービスを使用して、エンドツーエンド接続を実現する方法について学習する		
22	アドレス解決	ARPとネイバー探索がネットワーク上で通信を有効にする方法を学習する		
23	ルータの基本設定	ルータとエンドデバイスに初期設定を行う		

回	テーマ	内容
24～ 27	IPv4アドレッシング	IPv4サブネット方式を計算して、ネットワークを効率的にセグメント化する
28～ 31	IPv6アドレッシング	IPv6アドレッシング方式を実装する
32	ICMP	さまざまなツールを使用して、ネットワーク接続をテストする
33～ 35	トランスポート層	エンドツーエンド通信をサポートするトランスポート層のプロトコルの動作を比較する
36～ 38	アプリケーション層	エンドユーザーアプリケーションへのサポートを提供するためのアプリケーション層プロトコルの動作を学習する
39～ 40	ネットワークセキュリティの基礎	セキュリティを強化するために、デバイス強化機能を備えたスイッチとルーターを設定する
41～ 43	小規模ネットワークの構築	小規模ネットワーク用にルータ、スイッチ、およびエンドデバイスを含むネットワーク設計を実装する
44	前期学習内容の復習	前期学習内容の復習と解説
45	前期末試験	前期末試験
46～ 48	デバイスの基本設定	セキュリティのベストプラクティスを使用してデバイスを設定する
49	スイッチングの概念	レイヤ2スイッチによるデータの転送方法を学習する
50～ 52	VLAN	スイッチネットワークにVLANとトランキングを実装する
53～ 54	VLAN間ルーティング	レイヤ3デバイスでのVLAN間ルーティングのトラブルシューティングを行う
55～ 56	STP	STPがレイヤ2ネットワークで冗長性をどのように可能にするかを学習する
57～ 58	EtherChannel	スイッチリンクのEtherChannelのトラブルシューティング
59～ 60	DHCPv4	DHCPv4を実装して、複数のLANで動作させる
61～ 62	SLAACおよびDHCPv6の概念	IPv6ネットワークでの動的アドレス割り当てを設定する
63	FHRPの概念	FHRPが冗長ネットワークでデフォルトゲートウェイサービスを提供する方法を学習する
64～ 66	LANセキュリティの概念	脆弱性がどのようにLANセキュリティを侵害するかを説明する
67～ 69	スイッチのセキュリティ設定	スイッチのセキュリティを設定して、LANへの攻撃を軽減する
70～ 73	WLANの概念	WLANがどのようにネットワーク接続を有効にするかを学習する
74～ 75	WLANの設定	ワイヤレスルータとWLCを使用してWLANを実装する

回	テーマ	内 容		
76～ 78	ルーティングの概念	ルータがパケット内の情報をどのように使用して転送を決定するかを学習する		
79～ 81	IPスタティックルーティング	IPv4及びIPv6 のスタティック ルートを設定する		
82	スタティックルートとデフォルトルートのトラブルシューティング	スタティックルート設定とデフォルトルート設定のトラブルシューティングする		
83～ 86	後期学習内容の復習	後期学習内容の復習と解説 後期末試験対策の自己学習		
87～ 88	後期末実技試験	後期末実技試験		
89～ 90	後期末知識試験	後期末知識試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Ciscoネットワークアカデミー Web教材		出席率 課題・レポート 期末試験	10.0% 50.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報処理/ベンダー対策Ⅱ		情報システム学科/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	平坂 篤
授業の概要				
秋期情報処理試験に向けた対策を実施(基本はアルゴリズムの擬似言語) 基本情報よりも深い応用情報処理試験の内容を学習 【実務経験】平坂 篤: カスタマエンジニアとして5年の勤務経験 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。				
授業終了時の到達目標				
基本情報処理の合格 応用情報処理試験の合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		平坂 篤: カスタマエンジニアとして5年の勤務経験 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ		内容	
1	・ 基本情報のアルゴリズムについて理解する(配列の復習)、フローチャートを書く ・ 探索法の復習		・ 配列の復習 StepUP問題集 1-1-1、1-1-2 ・ 線形探索、二分探索 StepUP問題集 2-1-1	
2	・ 整列(ソート)の復習 ・ 第6章 データベース		・ 基本選択法、基本交換法、基本挿入法、クイックソート StepUP問題集 2-2-1、2-2-3 ・ 6. 3 正規化	
3	・ 第6章 データベース		・ 6. 3 正規化	
4	・ 第6章 データベース		・ 6. 4 関係データベースの演算	
5	・ 第6章 データベース		・ 6. 5 SQL	
6	・ 第6章 データベース		・ 6. 5 SQL	
7	・ 第6章 データベース		・ 6. 5 SQL ・ 6. 6 データ定義言語	
8	・ 第6章 データベース		・ 6. 6 データ定義言語	
9	・ 第6章 データベース		・ 6. 6 データ定義言語 ・ 6. 7 埋め込み方式	
10	・ 第6章 データベース		・ 6. 8 データベース管理システム	
11	・ 第6章 データベース		・ 6. 8 データベース管理システム	
12	・ 第6章 データベース		・ 6. 9 分散データベース ・ 6. 10 データベース応用	

回	テーマ	内 容		
13	・第6章 データベース	・得点アップ問題		
14	・第7章 ネットワーク	・7. 1 通信プロトコルの標準化 ・7. 2 IPアドレス		
15	・第7章 ネットワーク	・7. 3 ネットワーク(LAN) ・7. 4 インターネット利用技術		
16	・第7章 ネットワーク	・7. 5 伝送技術 ・7. 6 交換方式 ・7. 7 デジタル通信		
17	・第7章 ネットワーク	・7. 8 回線容量の計算		
18	・第7章 ネットワーク	・7. 9 伝送時間の計算		
19	・第8章 セキュリティ	・8. 1 暗号化 ・8. 2 暗号の応用		
20	・第8章 セキュリティ	・8. 3 認証 ・8. 4 デジタル署名とPKI		
21	・第8章 セキュリティ	・8. 5 コンピュータウイルス ・8. 6 脅威とリスク		
22	・第8章 セキュリティ ・第9章 システム開発技術	・得点アップ問題 ・9. 1 開発プロセス・手法		
23	・第9章 システム開発技術	・9. 2 分析・設計手法 ・9. 3 オブジェクト指向設計		
24	・第9章 システム開発技術	・9. 4 モジュール設計 ・9. 5 テスト		
25	・第9章 システム開発技術	・9. 6 テスト管理手法 ・9. 7 レビュー		
26	・第9章 システム開発技術 ・応用午前問題対策	・得点アップ問題 ・午前模擬問題		
27	・応用午前問題対策	・午前模擬問題		
28	・応用午後問題対策	・午後模擬問題		
29	・応用午後問題対策	・午後模擬問題		
30	・応用午後問題対策	・午後模擬問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
基本情報SETPUP演習アルゴリズム対策 応用情報技術者合格教本		出席率 授業態度 期末試験	10.0% 10.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
モバイルアプリケーション 演習 I		情報システム学科/2年	2021/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	天谷 正史
授業の概要				
Monacaを使ってスマホアプリケーションの開発する。				
授業終了時の到達目標				
Monacaを使ってスマホアプリケーションの開発する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【実務経験】天谷:ITエンジニアとしてシステム開発経験3年 これまでの開発経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	HTML5ハイブリッドアプリ開発と Monaca	Monacaについての理解		
3~ 4	Monacaの使い方	Monacaについての簡単な操作方法		
5~ 6	はじめてのMonacaアプリ	Monacaアプリの作成		
7~ 8	CSSアニメーションと描画機能	CSSアニメーションの動作の理解		
9~ 10	Onsen UIの基本	Onsen UIの理解		
11~ 12	イベントとインタラクション	イベントとインタラクションの使い方		
13~ 14	画面のパターンと構成	画面の構成方法		
15~ 16	Cordovaとデバイス機能	Cordovaについての理解		
17~ 18	AngularJS入門	AngularJSについての理解		
19~ 20	本格的なアプリ開発	本格的なアプリ開発の手法		
21~ 30	アプリ開発	実際にアプリを作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
クラウドでできるHTML5ハイブリッド アプリ開発		課題・レポート 出席率	80.0% 20.0%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
クラウドセキュリティ概論		情報システム学科/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉村 健太
授業の概要				
クラウドサービス導入に際して必要になる知識、スキルを習得する				
授業終了時の到達目標				
Cloud Essentials合格				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】吉村 健太：システム管理、システム開発経験16年 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習				
回	テーマ	内容		
1~2	クラウドコンピューティングの概念の理解	クラウドの基本的な概念と用語を理解する。 クラウドネットワークおよびクラウドストレージ技術について理解する。 クラウド設計の要素を認識する。		
3~5	クラウドビジネスの原則の応用	クラウドの概念をビジネスの原則と関連付ける。 クラウドベンダーとの関係を構築する。 クラウドサービスプロバイダーを利用するうえでの財務的側面を認識する。		
6~8	クラウドの設計や移行に関するアドバイス	クラウドの概念と、クラウドの設計・移行の関連性を確認する。 クラウド評価を使用する。クラウド設計を管理する。 クラウドへの移行に関するさまざまな方法を比較する。 クラウドサービスがもたらすメリットとソリューションを確認する。		
9~11	クラウドの運用	クラウドの概念をテクニカルオペレーションと関連付ける。 クラウド運用の技術的側面を理解する。 クラウドにおけるDevOpsについて理解する。		
12~14	クラウドガバナンスの管理	クラウドセキュリティに関する懸念事項や対策、概念について説明する。 クラウドの概念をガバナンスと関連付ける。 リスク管理の概念を適用する。 コンプライアンスとクラウドについて理解する。		
15	テスト	前期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
The Official CompTIA Cloud Essentials+ Study Guide		出席率 確認テスト 期末試験	30.0% 30.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動画制作実習		情報システム学科/2年	2021/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	フランチェスカ
授業の概要				
1. 動画の自主制作の習得(企画・撮影・編集) 2. YouTubeチャンネル運営に関する理解 3. 動画制作について個性・思考力の習得				
授業終了時の到達目標				
自身で企画した内容の動画を制作、YouTubeアカウントにアップロードまでの過程を習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【実務経験】フランチェスカ:動画編集、動画制作、Youtubeのコンテンツ管理経験10年 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習				
回	テーマ	内容		
1~4	1. 練習用の動画制作	1) 練習用に動画を撮影と編集(自己紹介or学園紹介or徳島紹介etc)		
5	2. 伝えるための動画制作	1) YouTube用の動画制作制作について講義		
6~7	3. YouTubeチャンネル開設	1) YouTubeブランドアカウントを作成(PCからのみ設定可能) 2) YouTubeに認められるチャンネルの知識 3) YouTubeを徹底活用する		
8~15	4. 動画制作実習	1) 自主企画した動画を撮影し編集、YouTubeへアップロード		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
改訂 Youtube 成功の実践法則60 カメラ(スマートフォン or iPhone) 編集機材(スマートフォン or iPhone or PC)		出席率 練習用動画制作(1本) YouTube用動画制作(6本) 動画高評価数10以上	20.0% 10.0% 60.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
商業簿記基礎		情報システム学科/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	小西 美月
授業の概要				
会計処理の概要と記帳処理 日商簿記検定3級対策				
授業終了時の到達目標				
日々の記帳から財務諸表作成までの一連の流れを理解することができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【実務経験】小西 美月: 会計事務所に15年の勤務経験 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ		内容	
1	簿記の基礎		簿記と財務諸表の関係について	
2	日常の手続き		記帳のルールを覚えよう	
3~ 4	商品売買		分記法と三分法、掛け取引・手付金の処理・諸掛り 売掛金・買掛金元帳・商品有高帳の記入・商品券・返品	
5	商品売買に関する補助簿		売掛金元帳・買掛金元帳・商品有高帳	
6	現金と預金		現金と通貨代用証券の処理	
7	クレジットと手形取引		クレジット売掛金・手形・電子記録債権債務	
8	帳簿の関係		主要簿と補助簿の作成	
9~ 10	その他の取引		貸付・借入、有形固定資産、未収と未払 仮払と仮受、給与・訂正仕訳	
11	試算表		試算表の作成	
12~ 16	決算		決算の意味と未処理事項 現金過不足、貯蔵品、当座借越の処理 売上原価の計算、貸倒れ、減価償却 経過勘定項目	
17~ 18	精算表		精算表の作成	
19~ 21	帳簿の締め切りと財務諸表		帳簿の締め切り 貸借対照表と損益計算書の作成	
22	株式の発行、剰余金		株式の発行、剰余金の配当と処分	

回	テ ー マ	内 容		
23～ 24	税金、証憑と伝票	税金の種類、伝票の作成と集計		
25～ 29	総まとめ	模擬問題、過去問答練		
30	後期末試験	後期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日商簿記3級合格テキスト（TAC出版）		出席率	20.0%	
日商簿記3級合格トレーニング（TAC出版）		確認テスト	20.0%	
自作プリント		課題・レポート	20.0%	
		期末試験	40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		情報システム学科/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	平坂 篤
授業の概要				
就職活動も含めながら社会人になるための基礎力を身につける				
授業終了時の到達目標				
1)3KAN教育(1.自己効力感 2.成長実感 3.学び続ける習慣)により企業が求める人材を育成する 2)基礎学力、専門知識を将来社会において発揮することができるための汎用的能力の育成 3)目標を設定し管理することによって、自己成長を実感させ、将来設計ができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内 容		
1	就職活動の動きを知る。	1. 就職活動の動き 2. 求人票の見方 3. 企業訪問 4. 就職試験 5. 企業が欲しい人材 6. 自己分析		
2	適性検査 スケジュール管理 各クラス動機付け	・5分前行動(9:25着席) ・身だしなみ確認 ・適性検査実施 ・就職の手引き説明 ・就職活動に向けた目標設定、またその目標を達成するための計画を立てられるよう 計画の立て方を学ぶ。		
3	スラスラ書ける文章術	・就職活動に備えたアウトプット中心の訓練 書く、話す、考える 文章の「型」を体得する ・論理的思考 ・考えを掘り下げる (「結論」→「根拠・事実」) ・文章の型の例「なたもだ」		
4	・自己分析 ●私の長所 ●希望職業と適性 ●自己分析 ・マインドマップ	I 成功の鍵を握る自己分析について ①自己分析の目的 ②自己分析をすることで、どのように役立つか ③自己分析は、具体的にどんな方法で行えばよいか ④自己分析をやってみる II 長所チェックリスト III 希望職業と適性の記入 IV 自己分析(長所)  マインドマップ		

回	テーマ	内 容		
5	自己分析の2回目であり、これまでの学生生活の振り返りと現状分析、未来への希望を考える。	自己分析シート2(過去)、自己分析シート(現在)、自己分析シート(未来)を使用して、自己の振り返りと希望の整理を行う。		
6	自己PR文の作成	1. 自己PR文の書き方を理解する。 2. 自己PR文のアウトライン(結論、理由、具体例)を考 え		
7	業種・職種の理解	業種、職種の意味 目指す業種、職種について、インターネットや就職相談室の資料を活用し、理解を深める。		
8	ロジカル・シンキング	・論理的思考によって物事の捉え方が変化する。 そのことを理解して日常に活かすことで、思考力を鍛えることができることを学習する。		
9	読書が楽しくなる読書術(1)	1. 読書の楽しみ方・本の選び方 1) 読書の楽しみ 2) 本の選び方 3) 書店・図書館利用法 2. 読書の活かし方 読んだだけで終わらない読書法		
10	・50問50答作成 ・履歴書作成	・5分前行動(9:25着席) ・身だしなみ確認 ・50問50答作成のポイントについての説明 ・履歴書の記入のポイントについての説明		
11	丁寧で見やすい履歴書が作成できるようになる	・文字の大きさは行高の70%程度 ・数字は漢字を使用せず、アラビア数字で記入 ・現住所は「徳島県」から記入 ・検定は「合格」、免許は「取得」で統一		
12	ホスピタリティマインド 社会人としての心得	1. ホスピタリティとは 身近なシーンでのホスピタリティ 2. 基本的なビジネスマナー 電話対応 会社訪問 メールでのマナー 3. 基本的な立ち居振る舞い		
13	50問50答、自己PRの確認 面接時の所作を学ぶ	50問50答の見直し 自己PRの発表 入退室の所作 説明と練習		
14	50問50答の仕上げ 自己PRの仕上げ	50問50答の各質問に対しての最善の回答を考える。 自己PRを見直し、実際の就職試験でアピールできる内容か再考案する。		
15	これから始まる就職活動に向けての心構え・準備(志望動機の書き方)	・志望動機の書き方ワークシート ・生活を変える4つの方法 ・明日からのやるべきことがハッキリする 就活成功術		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
就職の手引き 手帳		出席率	100.0%	2コマ:A評価 4コマ欠課:B評価 5~8コマ欠課:C評価 9コマ以上:D評価 ただし、フォローを受けた場合はカウントしないが、最高はB評価とする